

経営比較分析表（令和6年度決算）

香川県 観音寺市

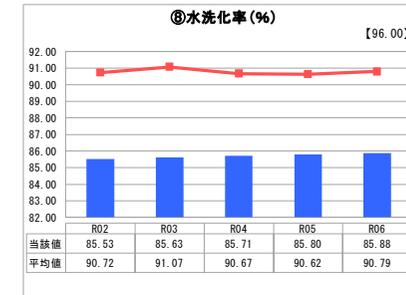
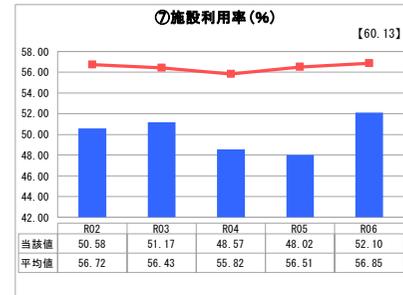
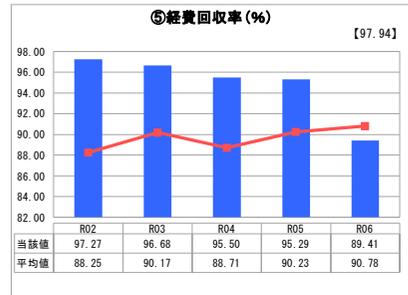
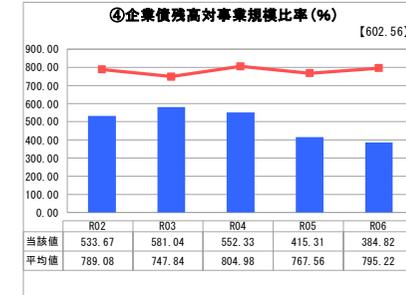
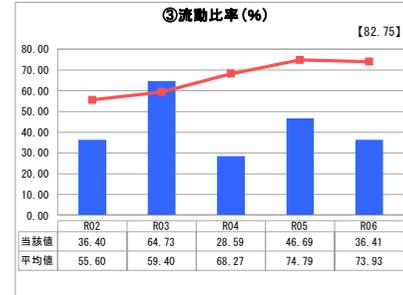
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Cc1 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 55.75 | 20.15 | 67.34 | 3,217 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 56,361 | 117.83 | 478.32 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 11,275 | 3.70 | 3,047.30 |

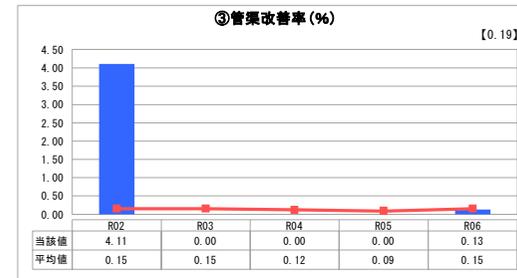
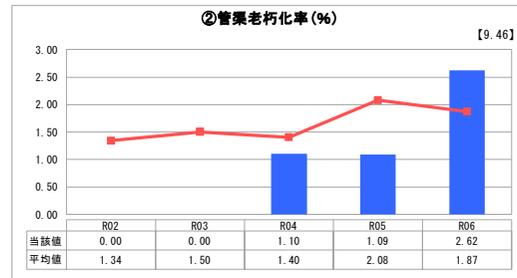
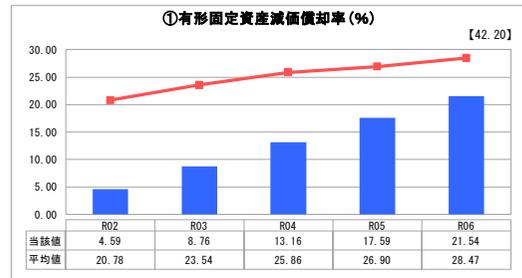
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は前年度から改善し、105.19%と100%を上回っているものの、⑤ 経費回収率は89.41%と類似団体平均値を下回っており、使用料収入により回収すべき経費の一部が一般会計からの繰入金等により賄われている状況にある。

② 累積欠損金比率は3.52%と改善しているが、依然として累積欠損金を有している状況である。また、⑥ 汚水処理原価は上昇傾向にあり、特に維持管理費の増加が影響していることから、管理工程全体の効率化による原価抑制が求められる。

③ 水洗化率は依然として類似団体平均値を下回っている。接続率の向上による使用料収入の確保に努める。

④ 施設利用率は改善しており、令和6年度からし尿及び浄化槽汚泥の共同化処理を開始したことによる処理水量の増加が要因と考えられる。

⑤ 企業債残高対事業規模比率も改善している。施設利用率等を踏まえつつ引き続き効率的な投資計画を進め、使用料収入の確保に努めることで、更なる改善を目指す。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は依然として類似団体平均値を下回っている。これは、令和2年度に公営企業会計へ移行してからの減価償却累計額を基に算出しているためであり、今後は施設の経年化に伴い、当該比率の上昇が続くと見込まれる。

② 管渠老朽化率は耐用年数を迎える管渠の増加により上昇しており、この傾向は継続する見込である。

ストックマネジメント計画及び経営戦略等に基づき、施設の重要度や健全度を踏まえた計画的な更新及び改築を実施することで、適切な維持管理に努める。

全体総括

経費回収率の低下や汚水処理原価の上昇が示すとおり、本市下水道事業の経営環境は依然として厳しい状況にある。

令和6年度決算では、経常収支比率は改善したものの、維持管理費の大幅な増加により、経費回収率が類似団体平均値を下回る結果となった。今後は、運転管理の効率化や維持管理費の抑制に努めるとともに、適切な使用料水準の設定や水洗化率の向上による使用料収入の確保を図る。

また、老朽化の進行に伴い、将来的な施設更新需要の増大が見込まれることから、ストックマネジメント計画に基づく効率的な維持管理及び設備投資を進める。

安定した下水道サービスの提供を継続するため、経営戦略（令和6年度末改定）に基づいて取組を進め、経営改善を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。